

(別記)

遠軽町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、北海道の東北部、オホーツク管内のほぼ中央、内陸側に位置しており、全耕作面積は6,209haとなっているが、そのうち土地利用型の占める割合が24%であり、耕畜連携による取り組みを一層進めていく必要がある。

一方、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少がみられる。また、麦については、地力低下により単収が落ちている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

(2) 非主食用米

- ア 飼料用米
- イ 米粉用米
- ウ WCS用稲
- エ 加工用米
- オ 備蓄米

(3) 麦、大豆、飼料作物

小麦は、生産数量目標に沿った作付面積を確保するため、湿害を回避するための排水対策の実施、機械の導入による省力化・機械化体系の構築、団地化の推進などを進めていくとともに、緑肥による輪作体系を確立する。地域畑作物輪作計画を基に、連作の解消や省力化に取り組む。

(4) そば、なたね

(5) 野菜

(6) てん菜

湿害対策により、収量・品質の安定向上に取り組むとともに、直播栽培により労働力の省力化を図る。

(7) 不作付地の解消

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米			
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	649	670	670
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
畑 地	169	175	170
・てん菜	169	175	170

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 26 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	28 年度の 支援の有無

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に、数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※28 年度の支援の有無の欄は、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載する。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり